

心の輪を広げる体験作文 小学生部門 ◆優秀賞

「身体障害者の生活」

相模原市立川尻小学校 四年 増井 ますい かなめ 要

ぼくは、総合で福祉について勉強をしたので「心の輪を広げる体験作文」にしました。

身体障害者になった原因は、疾病、事故、加齢、生まれつき（先天的）身体障害者などが挙げられます。

ぼくの近所の人は、事故で身体障害になりました。それを、後天的な障害者といえます。その近所の人は、事故のこういうしように半身まひで全く歩けないじょうたいでした。けれど、毎日トレーニングをして今は杖なしで下肢装具のみで上手に歩いています。その近所の人のこともあって「心の輪を広げる体験作文」にしました。

身体障害者とは両手両足が不自由だったり視覚や聴覚に制限があったりする人を身体障害者といえます。

身体障害者のコミュニケーションは色々ありまして手話・筆談・口話・車椅子・杖・義手・義足・下肢装具・眼鏡・補聴器などのコミュニケーションがあります。これらを使って生活を楽にしているとインターネットに書いてありました。

障害者にもオリンピックがあります。それを、「パラリンピック」といいます。

ぼく達にもできる障害者スポーツはたくさんあります。ぼくがやったことのある障害者スポーツは、「ボッチャ」と「ゴールボール」です。

ボッチャとは、ヨーロッパで生まれました。全身まひの人ができるように作られた障害者スポーツです。

ボッチャは二チームに分かれて一チーム最大三人までプレーできます。これは競い合うスポーツで、白いボールに向かってボールを投げ、そのボールが近かったチームが勝ちというルールです。カーリングに似ています。これを、二回戦やり、同点だったらもう一試合します。投げるのがむずかしいプレイヤーはランプというすべり台のようなものを使って、ボールをコートに出すことができます。この障害者スポーツはだれもが楽しくできる障害者スポーツです。

このように障害者はがんばって生きています。なので、ぼくも障害者のことをもっと知ってきょうみを持ちたいと思っています。そして、ぼくは障害者のことを知ってすぐくおどろきました。総合の学習でも役に立ったらいいなと思っています。